

関係各位

**薬局だより**

薬剤部 医薬品情報管理

定例薬事委員会において新規採用薬品等を下記のように決定いたしました。

## 1) 新規採用薬品

・診療科限定新規採用薬品: 下記の通り

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
小児科 産婦人科	トリビック (薬価:未収載)	百日せき菌の防御 抗原 4単位以上 ジフテリアトキソイド 15Lf以下 破傷風トキソイド 2.5Lf以下	阪大微研= 田辺三菱	初回免疫 通常、1回0.5mLずつを3回、いずれも3～8週間の間隔で皮下に注射する。 追加免疫 第1回の追加免疫には、通常、初回免疫後6か月以上の間隔において、0.5mLを1回皮下に注射する。以後の追加免疫には、通常、1回0.5mLを皮下に注射する。	百日せき、ジフテリア及び破傷風の予防
乳腺外科	ダトロウェイ点滴静注用 100mg (薬価:311,990/瓶)	ダトポタマブ デルクステカン(遺伝子組換え) 108mg	第一三共	通常、成人にはダトポタマブ デルクステカン(遺伝子組換え)として1回6mg/kg(体重)を90分かけて3週間間隔で点滴静注する。初回投与の忍容性が良好であれば2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。なお、患者の状態により適宜減量する。	化学療法歴のあるホルモン受容体陽性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳癌

## 2) 診療科限定追加依頼薬品: 下記の通り

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
血液・腫瘍内科	アロカリス点滴静注 235mg (薬価:11,276/瓶)	1ハイアル(10mL):ホスネツピタント塩化物塩酸塩 260mg(ホスネツピタントとして235mg)	大鵬薬品	他の制吐剤との併用において、通常、成人にはホスネツピタントとして235mgを抗悪性腫瘍剤投与1日目に1回、点滴静注する。	抗悪性腫瘍剤(シスプラチン等)投与に伴う消化器症状(悪心、嘔吐)(遅発期を含む)
集中治療部	エゼアト配合錠HD「JG」 (薬価:56.90/錠)	エゼチミブ 10.0mg 日局 アトルバスタチンカルシウム水和物 21.7mg(アトルバスタチンとして20mg)	日本ジェネリック	通常、成人には1日1回1錠(エゼチミブ/アトルバスタチンとして10mg/20mg)を食後に経口投与する。	高コレステロール血症、家族性高コレステロール血症

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
集中治療部	エゼロス配合錠HD「サワイ」 (薬価:37.70/錠)	エゼチミブ 10mg 日局ロスバスタチンカルシウム 5.2mg (ロスバスタチンとして5mg)	沢井	通常、成人には1日1回1錠(エゼチミブ/ロスバスタチンとして10mg/5mg)を食後に経口投与する。	高コレステロール血症、 家族性高コレステロール血症
緩和ケア内科	モルヒネ硫酸塩水和物徐放細粒分包10mg「フジモト」 (薬価:198.40/包)	1g中 モルヒネ硫酸塩水和物20mg 1包(0.5g)中 モルヒネ硫酸塩水和物10mg	藤本	モルヒネ硫酸塩水和物として、通常、成人1日20～120mgを2回に分割経口投与する。 なお、初回量は10mgとすることが望ましい。 症状に応じて適宜増減する。	激しい疼痛を伴う各種癌における鎮痛

3) 患者限定新規採用薬品: 下記の通り

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
感染症内科	ザイアジェン錠300mg (薬価:610.00/錠)	1錠中 アバカビル硫酸塩 351mg(アバカビルとして300mg)	ヴィーブヘルスケア =GSK	通常、成人には他の抗HIV薬と併用して、アバカビルとして1日量600mgを1日1回又は2回に分けて経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜減量する。	HIV感染症
産婦人科	ジエノゲスト錠0.5mg「モチダ」 (薬価:41.00/錠)	1錠中 ジエノゲスト 0.5mg	持田販売	通常、成人にはジエノゲストとして1日1mgを2回に分け、月経周期2～5日目より経口投与する。	月経困難症
皮膚科	イブグリース皮下注 250mgオートインジェクター (薬価:50,782/キット)	1シリンジ2mL中レプリキズマブ(遺伝子組換え)250mg	リリー	通常、成人及び12歳以上かつ体重40kg以上の小児には、レプリキズマブ(遺伝子組換え)として初回及び2週後に1回500mg、4週以降、1回250mgを2週間隔で皮下投与する。なお、患者の状態に応じて、4週以降、1回250mgを4週間隔で皮下投与することができる。	既存治療で効果不十分な アトピー性皮膚炎
糖尿病・内分泌内科	ヒューマログ注ミリオペン (薬価:1,156/キット)	1キット中 インスリン リスプロ(遺伝子組換え) 300単位	リリー	通常、成人では1回2～20単位を毎食直前に皮下注射するが、ときに回数を増やしたり、持続型インスリン製剤と併用したりすることがある。 投与量は、患者の症状及び検査所見に応じて適宜増減するが、持続型インスリン製剤の投与量を含めた維持量としては通常1日4～100単位である。	インスリン療法が適応となる糖尿病

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
精神科	クラシエ桂枝加芍薬湯エキス錠 (薬価:6.10/錠)	本品1日量(18錠)中 日局ケイヒ 4.0g 日局シャクヤク 6.0g 日局タイソウ 4.0g 日局ショウキョウ 1.0g 日局カンゾウ 2.0g 上記の混合生薬より抽出した桂枝加芍薬湯エキス粉末3,200mgを含有する。	大峰堂=クラシエ薬品	通常、成人1日18錠を2~3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。 なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。	腹部膨満感のある次の諸症 しぶり腹、腹痛
精神科	クラシエ四物湯エキス錠 (薬価:6.10/錠)	本品1日量(18錠)中 日局トウキ 3.0g 日局シャクヤク 3.0g 日局センキュウ 3.0g 日局ジオウ 3.0g 上記の混合生薬より抽出した四物湯エキス粉末3,300mgを含有する。	大峰堂=クラシエ薬品	通常、成人1日18錠を2~3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。 なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。	皮膚が乾燥し、色つやの悪い体質で胃腸障害のない人の次の諸症 産後あるいは流産後の疲労回復、月経不順、冷え症、しもやけ、しみ、血の道症
腎臓内科	ルプキネスカプセル 7.9mg (薬価:778.60/カプセル)	1カプセル中 ボクロスポリン 7.9mg	大塚製薬	通常、成人にはボクロスポリンとして1回23.7mgを1日2回経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。	ループス腎炎

4) 診療科限定再審議薬品(本採用結果)

- ・アトガム点滴静注250mg:診療科限定のままで(血液・腫瘍内科)
- ・エゼアト配合錠HD「JG」:診療科限定のままで(循環器内科)

5) 販売/供給中止・回収・限定出荷等に伴う変更 (在庫なくなり次第変更予定)

① 販売中止に伴う変更

(変更前薬品名)	(変更後薬品名)
キシロカイン液「4%」20mL	→ キシロカイン液「4%」100mL
メコバラミン注射液500µg「トーフ」	→ メコバラミン注500µg「NP」
イオパミロン注150 50mL	→ イオパミドール150注 50mL「F」
ヒドロコルチゾンリン酸エステルNa静注液100mg「AFP」	→ 水溶性ハイドロコトロン注射液100mg
【科限定】デュタステリドカプセル0.5mgAV「武田テバ」	→ 【科限定】デュタステリドカプセル0.5mgAV「日医工」

② 供給困難に伴う変更

(変更前薬品名)	(変更後薬品名)
アルプロスタジル注5 $\mu$ g「NIG」	→ アルプロスタジル注5 $\mu$ g「サワイ」

③ 出荷停止に伴う変更

(変更前薬品名)	(変更後薬品名)
エルカトニン注40単位「TBP」	→ エルシトニン注40単位

6) 削除薬品(在庫なくなり次第削除予定)

テトラビック皮下注シリンジ	: 販売中止のため削除
アリナミン注射液10mg	: 販売中止のため削除
【患者限定】プレドネマ注腸20mg	: 販売中止のため削除
【患者限定】ポラキス錠3	: 期限切れのため削除
【医師限定】ノルspanテープ5mg	: 期限切れのため削除
【科限定】DTビック	: 【科限定】トリビック採用のため削除
【科限定】ネスブ注射液プラシリンジ120 $\mu$ g/180 $\mu$ g	: 後発BSの適応相違が無くなったため削除

7) 採用区分/剤型変更等(在庫なくなり次第変更予定)

① 剤形変更/剤型追加/規格変更/規格追加

(1)規格追加

ツロブテロールテープ2mg「久光」	: ツロブテロールテープ1mg「久光」に追加
-------------------	------------------------

(2)剤型・規格追加

【患者限定】コセンティクス皮下注75mgシリンジ	: 【患者限定】コセンティクス皮下注150mg/300mgペンに追加
--------------------------	------------------------------------

9) 後発品への変更(在庫なくなり次第変更予定)

なし